

# 令和3年度 社会福祉法人池田芽ばえ福祉会事業報告書

## I. 法人概要

法人名	社会福祉法人池田芽ばえ福祉会
法人設立年月日	平成10年10月30日
代表者名	理事長 小川 美幸
法人所在地	〒563-0012 大阪府池田市東山町589番地
電話番号・FAX番号	電話:072-750-0560 FAX:072-750-0580
従業員総数	34名(令和4年3月31日現在)

## II. 法人理念

- 障がいのある人をひとりの人間として尊厳を重んじるとともに、本人の意向を大切にそのらしい生き方ができるよう支援します
- 住み慣れた地域で充実した暮らしができるように支援します
- 障がいのある人の地域生活の大切さを社会へ伝えるパイプ役になるように努めます

## III. 沿革

- 昭和52年 5月 池田市若草訓練所開設
- 平成 元年 1月 小規模無認可芽ばえ城南作業所
- 平成 9年 5月 池田市障害者団体連合会結成  
池田市協力のもと、社会福祉法人の設立と障害者通所授産施設の整備運営をめざす
- 平成10年 9月 施設建設着工
- 平成10年10月 社会福祉法人設立認可を得る
- 平成11年 6月 施設竣工
- 平成11年 7月 若草訓練所と芽ばえ城南作業所が統合され「東山作業所」として開所
- 平成23年 4月 東山作業所が多機能型障害福祉サービス事業所(生活介護・就労継続支援B型)を開始
- 平成25年 4月 東山作業所が障害福祉サービス事業所(生活介護)に変更し開始
- 令和 3年 3月 芽ばえホーム(共同生活援助)の障害福祉サービス事業者として指定を受ける  
(指定年月日 令和3年4月1日)

## IV. 事業内容

- 第二種社会福祉事業  
生活介護事業(東山作業所)
- 公益を目的とする事業  
地域生活支援事業【日中一時】(東山作業所)
- 第二種社会福祉事業  
共同生活援助(芽ばえホーム)

[法人本部]

■ 事業報告概要 ■

1. 実施状況

(1) 理事会及び評議員会開催状況

日 時	会 議 名	出 席 数 (理 事) (監 事) (評議員)	議 題
令和3年 5月20日	監事会 (書 面)	— — —	① 令和2年度事業報告 ② 令和2年度決算報告
令和3年 6月14日	評議員選任・ 解任委員会 (書 面)	— — —	次期評議員の選任
令和3年 6月15日	第1回 理事会 (書 面)	— — —	① 令和2年度事業報告 ② 令和2年度決算報告 ③ 次期役員候補者推薦 (案) ④ 次期評議員選任・解任委員の選任 ⑤ 令和3年度定時評議委員会の招集
令和3年 6月23日	定時評議員会 (書 面)	— — —	① 令和2年度事業報告 ② 令和2年度決算報告 ③ 次期役員選任
令和3年 7月5日	第2回 理事会 (書 面)	— — —	① 理事長の選任
令和3年 12月23日	第3回 理事会	5 1 —	① 理事長の職務の執行状況報告 ② 新規事業の運営 ③ 令和3年度第1回収支補正予算 (案)
令和4年 2月16日	臨時理事会	5 1 —	① 新規事業 (共同生活援助事業) 契約
令和4年 3月17日	第4回 理事会	6 1 —	① 理事長の職務の執行状況報告 ② 理事長専決に関する規則の制定 ③ 常勤職員就業規則の一部改正 ④ 非常勤職員就業規則の一部改正 ⑤ パートタイム就業規則の一部改正 ⑥ 新規事業 (共同生活援助事業) 契約 ⑦ 事務局長及び施設長 (管理者) の選任 ⑧ 令和4年度事業計画 (案) ⑨ 令和4年度資金収支予算 (案)

## (2) 施設長等の人事

事業所	役職名	氏名	就任期間
東山作業所	施設長（管理者）	片岡 幸代	平成30年4月1日～令和4年3月31日
芽ばえホーム	管理者	片岡 幸代	令和3年5月9日～令和4年3月31日
東山作業所	サービス管理 責任者	太田 徹	令和3年4月1日～現在に至る
芽ばえホーム	サービス管理 責任者	森脇しのぶ	令和3年5月9日～令和4年3月31日

〔東山作業所（生活介護・日中一時）〕

### ■ 事業報告概要 ■

#### 1. 基本方針

法人基本理念である「障がいのある人を一人の人間として尊厳を重んじる」「本人の意向を大切にし、その人らしい生き方ができるように支援する」「地域で充実した暮らしができるように支援する」「地域生活の大切さを社会へ伝えるパイプ役になるように努める」を基本方針としています。

個々のニーズを大切にしながら自己選択、意思決定ができるような機会をもてるようにきめ細かな支援を行いました。

#### 2. 事業内容

日中生活を安心して過ごせるように生産活動を中心に日常生活上の支援及び余暇、創作活動、レクリエーション活動等を提供しました。

令和3年度も新型コロナウイルス感染の集団感染拡大防止の観点から情報収集すると共に職員へ周知、家族への発信に努めました。

#### 3. 利用状況の実績〔定員53名〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍者数（人）	53	52	52	51	51	51	51	52	52	52	52	51
開所日数（日）	21	18	22	20	19	20	19	20	20	18	18	21
延利用者数（人）	997	853	1040	890	837	912	837	962	977	857	828	989
1日平均利用者数（人）	47.5	47.4	47.3	44.5	44.1	45.6	44.1	48.1	48.9	47.6	46.0	47.1
月平均利用率（%） （1日平均利用者/定員）	89.6	89.4	89.2	84.0	83.2	86.0	83.2	90.8	92.3	89.8	86.8	88.9

※少数第2四捨五入 平均年齢 45.8歳（令和4年3月31日現在）

新型コロナウイルス感染防止対策として緊急事態宣言、まん延防止等重点措置発令時は、その都度、ご家族へ情報発信を行いながら感染防止対策の協力お願いしました。所内でも感染防止を強化し、利用者支援を継続しました。一部の方は、利用自粛をされ、自宅待機となりました。その方には毎日の電話連絡でご様子伺いやご自宅まで作業材料をお届けするなど実施しました。

また、2月には新型コロナウイルスの陽性者が出た為、7日～10日、15日～18日と休所となり、各関係機関と連携しながら保健所の指導のもと対応しました。休所の間、利用者に対し毎日電話連絡で様子伺いを行いました。

#### 4. 利用者支援の実績

サービス管理責任者と担当支援者が本人、家族の要望を聞き取り、日中活動での状況を観察しながらニーズの掘り起こしを行い、支援者会議にて個別支援計画書を作成しきめ細かな支援をすることを心がけました。出来る限り社会参加や地域交流、色々な体験の選択肢や機会を設け、利用者の自己決定、意思を取り入れるよう努めました。年々、利用者の高齢化に伴う機能面の低下を常に意識した支援が必要になっています。

体調の変化、機能維持など健康に配慮した活動として班活動でのウォーキングやストレッチ、個別活動での運動機具利用により軽運動の機会を設けました。

利用者が安心して日中活動が送れるように支援に努めました。また、生活の中での機能低下を防ぐため支援過剰にならないように見極め、自立心を損なうことがないように心がけました。

#### 5. 実施状況

##### ○生産活動支援

作業種：箱折、印刷加工、100円ショップ商品加工、コーヒー加工と販売、食品セット、電源加工、ゴム作業、資材搬出入の運搬

- ・報告、相談、連絡を意識しての自発的活動の支援に努めました。
- ・利用者個々の能力を生かせる加工工程に取り組める支援に努めました。
- ・視覚支援や自助具の開発で障がい特性に合わせた生産活動支援に努めました。
- ・企業のニーズに応じていくことを利用者、支援員ともに共通認識し、信頼される生産活動となるよう努めました。
- ・仕事としての意識を持つことで社会の一員としての喜びや達成感を味わえるよう支援に努めました。

##### ○自主製作品

- ・さをり織り、手漉き紙、手作り品等を商品化し販売促進に努めています。
- ・さをり織りについては池田市より記念品として取り扱っていただき収入源となっています。
- ・EMぼかしの生産

##### ○仕入品

- ・そうめん、野菜の仕入れ販売することにより収益となっています。

##### ○リサイクル活動

- ・ペットボトルキャップの回収、仕分け
- ・インクカートリッジの回収、仕分け

##### ○施設外販売活動

とよのピア販売員担当

- ・月2回の販売担当は新型コロナウイルス感染リスクを避けるため、店頭での業務を自粛する期間が多くありました。
- ・新型コロナウイルス感染の情勢をみて業務した際は、感染対策を行った上で個々の適性により役割を分担し、業務習得（挨拶、接客、店内清掃など）の支援を行いました。

## ○生活支援

### ・ 社会生活支援

納品、リサイクル活動回収、通信配達、買い物、スポーツ、見学、文化活動など例年実施していました。令和3年度も活動については新型コロナウイルス感染症の影響で感染リスクを避けるため、やむを得なく中止や現地までの移動は行い職員と車内待機など気分転換の方法を図りながら実施しました。外出に制限があり喫茶や外食をする機会はありませんでした。情勢を見ながらコンビニへ好きなスイーツなどを買物し作業所で頂く等工夫して活動しました。

### ・ 活動メニュー

音楽活動、ビデオ鑑賞、リラックス系、製作活動、園芸、生活、運動、ゲーム、パソコンや音楽鑑賞、ウォーキング、絵本、紙芝居など。塗り絵はより細かな色使いになってきています。

## ○洗濯、清掃活動

- ・ 日常生活支援として洗濯作業、干し、取り入れ、たたみと一連の活動に努めました。
- ・ その他清掃活動として地域清掃や施設内の清掃など自立支援を行いました。

## ○リハビリ体操

- ・ ストレッチ体操においては、理学療法士の助言のもと随時、取り組みました。また、食事前は、嚥下体操を行い誤嚥防止に努めています。

## ○健康管理

- ・ 高齢に伴う生活習慣病予防、嚥下低下予防として各班、食事前に嚥下体操を行うなど日中での体調管理に留意しました。情緒面も含めた体調の変化に気づき家庭やグループホーム、嘱託医、看護師と連携して異常を早期に見つけ対応しました。
- ・ 看護師、理学療法士へ日々の体調、体の痛みなどその都度、相談し、家族へも専門家としての所見を報告し医療へつなげることができました。
- ・ 新型コロナウイルス感染防止対策としてご家族へ朝に自宅で検温し体調の変化等の把握をお願いすると共に作業所内での検温、手指消毒、可能な方はマスク着用、所内アルコール消毒を徹底いたしました。

## ○利用者活動

- ・ 月1回の利用者会議では、意見の表明や理解の難しい利用者に対する選択、決定への支援を行いました。
- ・ その月の予定や変更事項など連絡する機会とし見通しをもって活動できるように支援しました。

## ○個別支援計画

- ・ 個別支援計画の作成に基づいた支援の実施について支援計画が形骸化しないように毎月1回のミーティングで確認しながら実践しました。
- ・ 年2回モニタリング評価として本人の満足度の聞き取りや状況の確認を行いました。それに基づき原案作成し支援者会議で検討、修正をしました。新型コロナウイルス感染症の影響により面談できない状況の際は、書面での確認、説明、同意を頂き交付しました。
- ・ 長欠者には必要に応じて連絡をとり、家庭訪問、面談、個別送迎を実施しました。

○支援員間連携

- ・受託作業種が多種多様にわたるため、職員間の連携のもと、利用者の適性に応じた分担の配置を行いました。
- ・納期や検品、仕上げの手順、チェックポイントを共有しました。作業仕様書の整備と明確な伝達が継続課題です。
- ・支援については班ミーティングで個別報告をしながら担当支援員のみではなく担当外でも共通の認識として支援できるようにしました。

○他機関との連携

- ・気分不安定さや行動面の執着心などある際には家庭への連絡、心療内科受診時の報告と通院同行し助言を仰ぎながら支援をすすめました。

○苦情解決・サービス向上・虐待防止について

- ・委員会を設け定期的に問題提起、改善に努めました。
- ・要望等については数件ありましたが、迅速に対応、回答することに努めました。
- ・他害による利用者支援対策に努めましたが、4件ありました。
- ・ヒヤリハットについて、回数は減りましたが、引き続き、事故防止委員会等でも確認、情報・認識の共有、徹底を図りました。
- ・第三者委員より各報告書を閲覧後、助言をいただきました。

6. 施設管理

①施設内職員会議等

月	内 容	月	内 容
4月	運営会議 定例班ミーティング 定例職員会議 工賃管理委員会	10月	運営会議 定例班ミーティング 定例職員会議 感染対策委員会 工賃管理委員会
5月	運営会議 定例班ミーティング 定例職員会議 工賃管理委員会	11月	運営会議 定例班ミーティング 定例職員会議 虐待防止サービス向上委員会 事故防止委員会
6月	運営会議 定例班ミーティング 定例職員会議 感染対策委員会	12月	運営会議 定例班ミーティング 定例職員会議 感染対策委員会
7月	運営会議 定例班ミーティング 定例職員会議 感染対策委員会 虐待防止サービス向上委員会	1月	運営会議 定例班ミーティング 定例職員会議

	事故防止委員会		
8月	運営会議 定例班ミーティング 定例職員会議 感染対策委員会 送迎検討委員会	2月	運営会議 定例班ミーティング 定例職員会議 送迎検討委員会
9月	運営会議 定例班ミーティング 定例職員会議 感染対策委員会	3月	運営会議 定例班ミーティング 定例職員会議 工賃管理委員会 虐待防止サービス向上委員会 事故防止委員会

## ②消防計画

- ・防火管理者を中心に防災計画を策定し、火災・地震など自然災害に対し年2回の避難訓練を行いました。
- ・様々なシーンを想定し咄嗟の判断で利用者対応できるように備えました。

## ③職員研修について

- ・所内研修（4回）  
「心肺蘇生とAED実践（新型コロナ感染症を踏まえて）」、「ビジネスマナー」、「感染症対応」  
「人権を守る（支援者が自身の支援を振り返る）」
- ・所外研修（12回）  
公正採用選考人権研修会・グループホーム世話人研修・自閉症支援・施設長等会議、  
強度行動障がい支援者養成・実践報告会 他

## ④車両安全運行計画

- ・送迎サービスを安全、安心に利用して頂くため、職員に安全運転意識を向上させること。また、非常時に迅速な対応がとれるようにマニュアル整備などを行いました。
- ・必要に応じて送迎ルート、停留所の変更をしました。
- ・整備管理者を選任し必要な点検整備の把握に努めました。

## 5. 職員状況（令和4年3月31日現在）

- ・管理者（施設長）1名（常勤兼務1名） ・サービス管理責任者1名（常勤1名）
- ・生活支援員15名（常勤8名、非常勤7名） ・事務職員1名（常勤兼務1名）
- ・嘱託医1名（非常勤1名） ・看護職員1名（非常勤兼務1名） ・理学療法士1名（非常勤1名）
- ・運転手2名（非常勤2名） ・添乗員1名（非常勤1名） ・調理員1名（外部委託）

## 6. 日中一時実施状況

### ①利用状況

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1回	0回	1回	1回	0回	1回	0回	1回	0回	0回	1回	0回

利用回数の減少や他ヘルパー事業所との契約の増加に伴い令和4年3月31日をもって事業を廃止

[芽ばえホーム（共同生活援助）]

### ■ 事業報告概要 ■

#### 1. 経過報告

令和3年 4月 世話人採用、研修  
 家族向け入居説明会  
 利用者居室荷入れ等環境整備  
 5月9日 オープン

#### 2. 基本方針

法人の理念とする障がいがあっても地域で安心して暮らしていく、を基本に新規事業としてオープンしました。

親元離れての生活に不安や混乱のないよう、少人数からの体験的なスタートしました。

365日の夜間生活支援を目標としました。

#### 3. 施設管理

##### ①居住地

名 称 風  
 住 所 〒563-0022 大阪府池田市旭丘1丁目3-3  
 電話・FAX番号 072-761-1567  
 定 員 数 5名

#### 4. 利用状況の実績〔定員5名〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍者数(人)	—	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
開所日数(日)	—	23	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
延利用者数(人)	—	49	146	144	139	143	147	142	144	134	132	146
1日平均利用者数(人)	—	2.1	4.9	4.6	4.5	4.8	4.7	4.7	4.6	4.3	4.7	4.7
月平均利用率(%) (1日平均利用者/定員)	—	42.0	98.0	92.0	90.0	96.0	94.0	94.0	92.0	86.0	94.0	94.0

※小数第2位四捨五入

#### 5. 実施状況

##### ○個別支援計画書

・本人、及び家族へアセスメント実施、原案作成、面談、計画書の同意、交付、面談にて希望する生



活などの意向確認、計画の変更、調整を行いました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、面談を見合わせました。

#### ○生活支援

- ・計画に沿って個別に自立生活支援を実践しました。
- ・生活のスケジュール化、視覚化にて見通しのつく支援を行いました。
- ・衣服の調節、入浴、洗濯、片付け等身辺自立の生活習慣化を図りました。
- ・ホーム行事の実施：誕生日会、クリスマス会
- ・食事準備、掃き掃除、草抜きなど能力に応じて機会を提供しました。
- ・入居者同士のトラブルはその都度、傾聴し対応しました。
- ・対応した件は申し送りノートや業務日誌で報告、共有を図りました。

#### ○食事の提供

- ・食材宅配サービスを利用しました。
- ・温かみのある手作りの食事を提供しました。
- ・栄養バランスやカロリー、刻み食、偏食に対応しました。
- ・食材や飲料にこだわりや不適応行動が強化されるため台所への入室は禁止しました。

#### ○健康管理

- ・感染防止対策として共有スペースではマスク着用、朝夕2回の検温実施
- ・手指消毒の徹底、食事は非対面
- ・12月までスタッフの定期PCR検査の実施
- ・水虫など感染防止対策の実施
- ・服薬管理
- ・体調の変化に気づき家族、管理者へ報告、医療へ結びました。
- ・生活介護事業所、居宅介護事業所とも連携しました。
- ・加齢による嚥下機能の低下、日常生活動作の低下などがみられるため機能維持のための自立度を上げていきます。また、過剰支援に気をつけました。

#### ○支援者会議、研修

- ・必要に応じて支援者会議を行い、支援の統一、情報共有を行いました。
- ・SNSや連絡網のシステムを駆使して共有を図りました。
- ・世話人研修はリモートや会場へ積極的に出席しました。
- ・虐待防止のチェックリスト実施しました。
- ・「人権を守る（支援者が自身の支援を振り返る）」についての所内研修に出席しました。

#### ○送迎支援

- ・日中活動事業所への送迎車停車場所への到着、出発時間の調整、準備、付き添いなどを行いました。

#### ○その他

- ・消防設備点検
- ・家族面談

- ・自治会未入会
- ・地域からの苦情 1 件
- ・事故報告 1 件

6. 職員状況（令和 4 年 3 月 3 1 日現在）

- ・管理者 1 名（常勤兼務 1 名）
- ・サービス管理責任者 1 名（非常勤 1 名）
- ・生活支援員兼世話人 1 0 名（非常勤 1 0 名）
- ・事務職員 1 名（常勤兼務 1 名）
- ・看護師 1 名（非常勤兼務 1 名）